

江戸時代の旅のたのしみもど当地スイーツだった!

220年前の 絵図と行く 日坂~島田の 旅案内。



島田市を東西に貫く東海道。江戸時代には多くの人々が徒歩でこの道を行き交いました。当時の旅人は一日に40~50kmも歩いたといわれています。平坦な道ならまだしも、峠や川越しのような難所に臨む際には、あらかじめ体力を回復させるべく、旅人たちは栄養価の高い団子やまんじゅう、飴などを食べました。つまり自然と、難所の前後に名物が誕生したのです。

本展覧会では、江戸時代中頃に描かれた高力猿猴庵の『東街便覧図略』の中から、金谷を含む日坂~島田宿の絵図を、今も残る名所の紹介とともにご覧いただけます。

あなたの身近な街道風景や名物が、220年前の絵図に描かれているかもしれません。そしてあのご当地スイーツも...。展示を見た後は、ぜひmeguri石畳茶屋から、東海道をめぐってみてください。



高力猿猴庵の『東街便覧図略』とは

猿猴庵の名で絵師としても活躍した尾張藩士高力種信(こうりきたねのぶ 1756-1831)。藩の命令を受けた彼が熱田から品川まで東海道を旅した折りに、街道沿いの名物や名所を自分の目で見て体験して、描かれた絵図集が『東街便覧図略』です。

浮世絵の大半が実際には現地に行かず想像で描かれていたのに対し、現地取材に基づくリアルな描写が『東街便覧図略』の特長。当時の街道名物の評判や売り文句まで生き生きと描かれています。今回は日坂から島田までの間に描かれた15点の絵図のうち、10点を展示します。この機会にぜひご覧ください。



日坂宿 東海道中膝栗毛にも登場する日坂宿のわらび餅屋。当時の製法を伝える店が今も一軒残っています。



菊川 日坂と金谷の“間の宿”としてにぎわった菊川。広い座敷で葉飯田楽を食べる3人組。現地で想像してみましょう。



金谷台 牧之原台地の一角、おそらく今の石畳茶屋があるあたりからの眺め。金谷宿、天井川、富士山が描かれています。

日坂
〜
金谷
〜
島田

画像提供：名古屋市博物館/国立国会図書館



旅とスイーツ展 開催記念! 「金谷抹茶の石だたみ」新発売

meguri 石畳茶屋で人気のケーキ「抹茶のミルクレープ」が手土産サイズで新登場。東海道めぐりのおやつにも。店頭で1個(¥190)からお買い求めいただけます。みなさまのご来店をお待ちしております。

Coupon!

平日14:00~16:30 限定

スイーツセット
¥100 OFF

展覧会記念サービス!ご来店時にこのチラシを店員にご提示ください。



meguri 石畳茶屋

☎0547-45-5715

〒428-0023 静岡県島田市金谷坂町2482-1
公式WEBサイト <https://ishidatami.info>



開館時間 9:00~17:00 (10月~3月 16:00 閉館)・月曜休
レストラン 11:00~16:30 (L.O.)・月火曜休

本日のおすすめスイーツなど最新の情報はSNSをご覧ください。

meguri 石畳茶屋

